

—シルバーアドバイザーネット大阪—

## 新規事業による社会貢献資料

総会資料

- ①おもちゃ学校（大阪校）指導者養成講座
- ②夏休み子ども工作教室（ゲームよりも楽しい物づくり）
- ③障がい者と高齢者のスポーツ交流（ボッチャ競技）
- ④大阪万博共創チャレンジ「幸せの星」プロジェクト
- ⑤海外で日本語を学ぶ若者との国際交流（オンライン交流）

NPO 法人：シルバーアドバイザーネット大阪

2023年6月3日

NPOシルバーアドバイザーネット大阪・新規事業報告書①

|       |                               |        |         |
|-------|-------------------------------|--------|---------|
| 活動名   | おもちゃ学校（大阪校）                   | 活動月日   | 2022年4月 |
| 活動内容  | 指導者養成講座                       | 推進リーダー | 長澤      |
| スタッフ名 | 村松、長澤、小川、大川<br>毎月開催・講師・アシスタント | 参加者    | 30名     |
| 助成金申請 | 申請組織＝子どもゆめ基金・助成金額 272,000     |        |         |

活動概要

◆おもちゃ学校（大阪校）1年間通しての活動概要（5回目为例）

- ①座学＝伝承玩具・日本のおもちゃの歴史（江戸時代のからくりおもちゃ） 松森一夫 講師
- ②クラフト＝折り染め教室そめものアート（アナログの楽しみ） 高松真津子 講師
- ③科学工作＝リニアこま、磁石の反発利用で、コマが宙に浮き回る 沖野幸夫 講師
- ④クラスミーティング＝学習発表会検討会班ごと検討（事例紹介） 委員長 司会



3期生開校式・記念講演



3期生閉校式・修了書授与

**令和2年度 子ども健全育成指導者講座**  
**おもちゃ学校 (大阪校) 受講生募集**  
 子ども達におもちゃ作りを指導する人の養成講座  
**4月21日(火)開講**  
 子ども大好きなあなたにあなたが持っている楽しいIDと特技で子ども達と交流しませんか?



実施：毎月第三火曜日 受付 10:00 発着 10:15～16:00まで（12回/年）  
 会場：大阪市教育会館（アスタース）11号館（旧法政大学）大阪府高野町高野大学校教室  
 募集人員：30名 申し込み先着順（最低募集人数15名）  
 受講料：年割 12,000円 半年 6,000円 の2回割  
 対象：成人男女、年齢、経験不問、地域・居住地域不問、ません  
 申し込み先：TEL/FAX 06-6388-3380 Eメール ogawa.tadacosasuit@yahoo.co.jp  
 又は NPO法人 SA ネット大阪 担当 村松(大阪市教育会館 6階)府民・区民カレッジ(事務局内)  
 ・問い合わせ先 小川 090-4032-9177 村松 秀明 080-3040

**主催：NPO法人 SA 子ども活動塾**  
**共催：NPO法人シルバーアドバイザー ネット大阪**  
**後援：認定NPO法人大阪府高齢者大学校**  
**協賛：NPO法人大阪府民カレッジ・区民カレッジ**

所感

開校4年目となり修了後活動も軌道にのってきた。  
 今後は期毎に「おもちゃ研究会」みたいな形での自主運営が  
 できる体制になるよう4期受講生に働きかけていきたい。



## NPOシルバーアドバイザーネット大阪・新規事業報告書②

|                   |                                |        |         |
|-------------------|--------------------------------|--------|---------|
| 活動名               | おもちゃ学校（大阪校）<br>夏休み子ども工作教室      | 活動月日   | 2022年7月 |
| 活動内容              | 夏休み子ども工作教室<br>4回シリーズ（第1回の受講生）  | 推進リーダー | 小林      |
| スタッフ名<br>（大阪校修了生） | 村松、長澤、小林、大川<br>毎回開催・講師・アシスタント  | 参加者    | 20名     |
| 助成金申請             | 申請組織＝国立青少年教育振興機構 ・助成金額 184,697 |        |         |

活動概要 開会あいさつ小林会長 ※「ロボタン」長澤講師

1回 7/29（17名）今回工作する”ロボタン”は私たちも初めて行うテーマで若干の不安もあったが子どもたちの旺盛な好奇心に助けられ最後まで完成することができた。

2回 8/3（19名） ※ がりがりトンボ&ビックリ箱：小林講師  
今回の工作は”ガリガリトンボとビックリ箱”という”伝承おもちゃ”で子どもたちも一度は見たことがあり工作はスムーズに進めることができ、既製品とは違った笑顔を見ることができた

3回開催所感 8/10（16名） ※「けん玉&ブンブンコマ」：上坂講師  
今回も前回に続き”伝承おもちゃ”の”けん玉とぶんぶんゴマ”を工作した。  
カラーテープで飾り付けと個性豊かなけん玉が出来ました。最後はけん玉大会で、大盛り上がり。

4回 8/19 参加 17名（欠席4名）テーマ＝おもしろ科学「登るてんとう虫」講師＝熊田講師



**令和3年度夏休み  
子ども工作教室 生徒募集!**  
（子ども健全育成手作りおもちゃ教室・子どもゆめ基金助成事業）

ゲームにはない物づくりの魅力を発見しよう!

開催日程 7月29日(木)、8月5日(金)、8月12日(木)、8月18日(休)  
各日9:00～12:00

講習会場 クレオ大阪東 研修室  
大阪市東淀川区瑞穂西 2-21（東面に地図掲載）

定員 21名

受講料 無料（国立青少年教育振興機構・子どもゆめ基金の助成事業です）  
材料費 4回合計1600円以内半額の800円負担頂きます。  
初回受講時に申し受けます。

受付 7月12日（月）～7月26日（月） 申込者多数の場合は抽選  
参加の申込書を郵送、又はメール、電話でも可。  
参加者名・保護者名・学校学年・電話番号をご連絡ください。

申し込み先 NPO法人 シルバーアドバイザーネット大阪  
Eメール: [tsunamatsui308@gmail.com](mailto:tsunamatsui308@gmail.com)  
電話: 080-3040-6336（受付携帯）

主催：NPO法人 シルバーアドバイザー・ネット大阪  
大阪府中央区西内堀1丁目1番35号 大阪市教育会館内  
協賛：認定NPO法人 大阪府立教育大学校  
NPO法人 大阪区カレッジ  
NPO法人 大阪府カレッジ  
NPO法人 SA子ども活動部



所感 おもちゃ学校修了後活動の場として定着してきた。参加する子ども達の中にもリピーターがいて1年毎の成長を見ることができ、その事もスタッフの楽しみになっている。  
将来日本のものづくりに関わってくれる子どもが居たらいいな～と思った。  
昨年もコロナ禍心配の開催だったが、4日間延 69名の参加、4つの組織からの後援戴き無事終了する事が出来ました。（クレオ大阪東は会場広く、アクセス良くリピート受講生も増えた様）

NPOシルバーアドバイザーネット大阪・新規事業報告書③

|  |                             |       |         |
|--|-----------------------------|-------|---------|
| 活動名  | SAネット大阪主催                   | 活動月日  | 2022年6月 |
| 活動内容   | ボッチャ競技をとおして<br>障がい者と高齢者の交流  | 推進リーダ | 村松      |
| スタッフ名  | 10名 3回開催                    | 参加者   | 32名     |
| 4つの団体がボッチャ競技で交流を語る                               |                             |       |         |
| ・障がい者就労支援団体「ひこうせん」・なにわの宮」・「コーダイ SSD 会」・「コーダイ受講生」 |                             |       |         |
| 助成金申請  | 申請組織＝住友生命健康財団 ・助成金額 390,000 |       |         |

**活動概要** 大阪市内には多くの障害者施設、高齢者施設があるが、それぞれ独立した組織である為に、お互いに交流も無く互いの事が理解されていない現状がある。当団体の事務所がある大阪市教育会館にも障害者の協会・高齢者の為の生涯学習学校があるが交流については殆ど無い。障害者団体の職員さん、障害者の方々、高齢者学校の事務局、高齢者の受講生が毎日通う場所ではあるがお互いの事については何も分からないというのが現状である。

このような背景の中、同じビルの中で生活介護を受ける障害者と生涯学習活動をしている高齢者が一つのスポーツ（ボッチャ）を通して交流を図る。それぞれの生活の中で今まで触れ合う事の無かった者が交流する事で、お互いの事理解ができるようになる。障害者の方々にとっても今までの社会が広がり社会生活能力の向上につながる。又高齢者にとっても、今までの長い人生の中で障害者と接点の無かった者も多く、初めて触れ合う機会を持ち、新たな認識を持つ事ができる。今回は4つの団体がボッチャ競技で交流を語る。打ち合わせ会4回、練習会1回+協議会（交流会）2回を行った。



**所感** 高大の教室のある教育会館にある障がい者の就労支援団体との交流として実施。我々シニアとハンディキャップを持っている方達とボッチャを一緒に楽しむ事での交流で新しい関係づくりが出来たと感じている。参加者からイベントの継続の要請があり今年も実施予定です。何よりも参加者メンバーが楽しんで貰えたことが一番。特に支援施設の方が次の交流会を待ち望んでいるとの話を聞くと事務局として本当にやり甲斐を感じる。今まで障害を持った方々と触れあう機会も無かったが、このような機会ですポーツを通して相互の理解が深まった。

NPOシルバーアドバイザーネット大阪・新規事業報告書④

|       |                 |               |          |
|-------|-----------------|---------------|----------|
| 活動名   | 万博共創チャレンジ「幸せの星」 | 活動月日          | 2022年10月 |
| 活動内容  | しあわせの星 プロジェクト   | 推進リーダー        | 島田       |
| スタッフ名 | 5名              | 参加者           | 100名     |
| 助成金申請 | 申請組織 大同生命厚生事業団  | ・助成金額 100,000 |          |

活動概要

大阪万博共創チャレンジャー登録

幸せの星ストラップで日本の心を世界に届けます♥

- ・チーム名シルバーアドバイザーネット大阪
- ・共創メンバー大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会  
大阪府高齢者大学校校友会・アーバンツーリズム大阪・船場主な活動地域日本 / 大阪活動テーマ大阪・関西  
万博の内容周知、テーマや意義の発信 /



所感

大阪万博への参画事業と言うことで企画し現在進行中です。  
「幸せの星」づくり、作った星のストラップのプレゼントを通しての訪日外国人との交流の2段階の活動となる。多くの団体とのコラボで徐々に活動の輪が広がりつつある。大阪日本語教育センターの留学生の皆さん、卒業にあわせて120人の留学生の皆さんにプレゼントしました。代表の方6名に受け取って貰いました。

NPOシルバーアドバイザーネット大阪・新規事業報告書⑤

|       |                                       |       |         |
|-------|---------------------------------------|-------|---------|
| 活動名   | 国際交流                                  | 活動月日  | 2022年4月 |
| 活動内容  | 海外で日本語を学ぶ若者と高齢者との交流促進                 | 推進リーダ | 古川      |
| スタッフ名 | 3名                                    | 参加者   | 50名     |
| 助成金申請 | 申請組織 大阪ガス福祉財団 (高齢者福祉助成) ・助成金額 140,000 |       |         |

活動概要

1. トルコオンライン交流

- 第6回 テーマ 日本の歴史 トルコの歴史 5月30日
- 第7回 テーマ 家族の事、まわりの社会は? 6月6日
- 第8回 テーマ それぞれの国で話題になっている事 6月13日
- 第9回 テーマ 日本の魅力、外国人から見た日本 6月20日
- 第10回 テーマ トルコの魅力 日本人から見た魅力 第2ターンの最終日

2. ミャンマーオンライン交流

- 第5回 5月26日 第6回 6月2日 第7回 6月9日 第8回 6月16日
- 第9回 6月23日 第10回 6月30日 第3ターンの最終日

3. トルコイスタンブール交流スタート

- 第1回 6月5日(土) 17:00～ 国際文化交流科第7期修了生 10人でスタート



所感

コロナ禍で始まったオンライン交流がコロナ収束後も継続している。昨年はミャンマー、トルコ、訪日技能実習生・留学生と国と年代の差を超えて日本語での交流を実施できた。日本語を学んでいる世界の若者達との交流で我々シニアにとっては元気を貰ってきたし、若者達には日本語のレベルアップに繋がった。今後も継続していきたいと考えている。